

認知症への理解を深めよう！

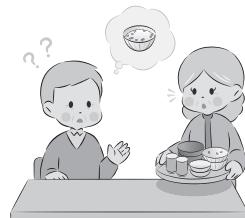
9月は「茨城県認知症を知る月間」です

認知症は、脳の病気や障がいなど、さまざまな原因により物忘れや判断力などの認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障をきたす病気です。

茨城県では、9月の「世界アルツハイマー月間」とあわせ、9月を認知症を知る月間として、認知症の早期発見や認知症予防の取り組みを推進しており、市でも認知症に対する取り組みを行っています。

認知症による物忘れの例

- ・食べたこと自体を忘れる
- ・物忘れの自覚はない
- ・誰かが取ったなど、探し物を他人のせいにすることがある など



市で行っている認知症に対する取組

認知症予防カフェ・オレンジカフェ	認知症初期集中支援チーム
每月、認知症を予防するために簡単な体操や脳トレなどを楽しく行っています。 ○毎月第4土曜日 10:00～11:00 サポートセンター大宮内カフェテリアエルマウ 要予約 ☎58-8020 ○毎月第1火曜日 13:30～15:00 神奉地コミュニティセンター ☎57-3326 ○毎月第2火曜日 10:00～12:00 美和地域センター多目的室 ☎57-3326 ○毎月第3月曜日 13:30～15:00 御前山地域センター多目的室 ☎57-3326	医師、看護師、社会福祉士、作業療法士などの専門職が認知症の方や認知症の疑いのある方の家庭を訪問し、本人や家族の状況に合わせた今後の対応と一緒に考えます。 【支援の対象となる方】 ・認知症が疑われるが、診断を受けていない方 ・継続的な医療サービスを受けていない方 ・適切な介護保険サービスに結び付いていない方 ・診断されたが介護保険サービスの利用が中断している方 ・医療や介護保険サービスを受けるも、認知症の行動・心理症状が顕著で対応に悩んでいる方
家族のつどいカフェ	おかえりマーク登録事業
認知症の方を介護している家族の方が情報交換や意見交換等を行っています。 ○偶数月第4土曜日 14:00～15:00 サポートセンター大宮内カフェテリアエルマウ 要予約 ☎53-6810	「おかえりマーク」 は、在宅にいる認知症等の方が徘徊行動で行方不明となった場合の早期発見、身元確認を容易にするためのシールで、登録番号の入った2種類を交付します。

認知症に関する本の展示

認知症を知る月間にあわせ、図書情報館エントランスで認知症に関する本を展示しています。この機会に、認知症への理解を深めてみませんか。

認知症は、早めに気づいて適切な治療・対応をすれば、その後の進行を遅らせることができます。「年のせい」と受診をためらわず、不安なことがあれば早めにご相談ください。専門医にかかることに抵抗がある場合は、まずはかかりつけ医へ相談してみましょう。

市内の専門医	志村大宮病院 認知症疾患医療センター ☎58-8020 常陸大宮済生会病院 もの忘れ外来 ☎52-5151
認知症相談窓口	地域包括支援センターには、認知症に関する研修を受けた「認知症地域支援推進員」がいます。お気軽にご相談ください。

■ 長寿福祉課高齢者支援G **☎52-1111** 内線 173・174

南部地域包括支援センター（大宮） **☎53-6810**

北部地域包括支援センター（山方・美和・緒川・御前山） **☎57-3326**